

地域情報通信基盤整備事業 （第一期基盤整備工事）が始まりました

地域情報通信基盤整備事業に

ついては、基盤整備工事も本年度より着手され、山崎町河東・神野地区、一宮町及び波賀町地域では、引き込み工事が既に始まっており、工事の進捗率は29・8%（12月4日現在）に至っています。

議会として、計画の段階からいろいろと議論し、本事業を推進することとなりましたので、特集として掲載いたします。

【事業の背景】

市内全世帯への防災情報、行政情報のお知らせを、迅速かつ一元的に放送する必要があると共に、都市部との情報格差を解消するため、効率的に放送と通信環境を整備するものです。

【放送と通信の環境を整備するその理由と主な要因】

地上デジタル放送は2011年7月に完全にアナログ放送が終了するため、それまでに地上デジタル放送を受信できるための整備が必要となります。

市内の状況は、約5割の世帯がテレビ組合等の施設（59組合）によりテレビを視聴されています。それを全てデジタル化に対応できるように改修が必要となります。

現在、市からのお知らせ手段が各市民局によって異なり、不均一で非効率的といえます。早急に市役所等からのお知らせを一元化する必要があります。

インターネット環境は、山崎の中心部については、NTTに

より光インターネット

の整備がされていますが、その他の地域については、ADSL環境に止まるため、地理的条件により通信速度に大きな差があり、満足できない通信速度が確保できていません。

【具体的な整備】

以上のことから、光ケーブルによる情報基盤の整備が急務と考え、民間事業者による整備を模索してきました。採算面から参入する業者がいなかったため、市が情報通信基盤の整備を行い、行政負担の少ない効率的運営の観点から、テレビ・インターネ



整備中の情報通信事業

ットについては姫路ケーブルテレビ（株）（通称ウイंक）に施設を貸し出し、利用希望者にサービス展開を行うこととされました。

一方、市からのお知らせについては、放送線を利用しないFM放送の検討もされましたが、自治会放送が利用できない、市民局別・地区別のきめ細かな放